

【令和 2 年 4 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 4 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 4 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【一部の小売業を除き、新型コロナウイルスの影響により前期よりも業況悪化】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-58.6（前月-48.3、前年同月-8.1）で、前月比 10.3pt 悪化した。新型コロナウイルスの影響は全業種に及ぶが、特に建築資材等の入荷遅延による工事中断を余儀なくされている建築業や外出自粛の影響により宿泊客が減少している宿泊業では著しい売上の減少が多く聞かれ、新型コロナウイルス終息まで厳しい状況が続くと考えられる。

【製造業】

業況は-51.0（前月-44.1、前年同月-3.9）と前月に比べ 6.9pt 悪化した。製造業においては新型コロナウイルスの影響から取引先の休業や生産調整と製造ラインを止めざるを得ない状況により受注が大幅に減少との報告が各地から上がっており、業況を押し下げた。

【建設業】

業況は-58.8（前月-44.1、前年同月-2.9）と前月に比べ 14.7pt 悪化した。依然、建築資材や水回り設備、電気系部品等の入荷が遅れている状況であり、工事の停止・工期延長・着工延期が発生している。工事の延期等により、今後の新規案件の受注に目途がたっておらず業況は大幅に悪化した。

【小売業】

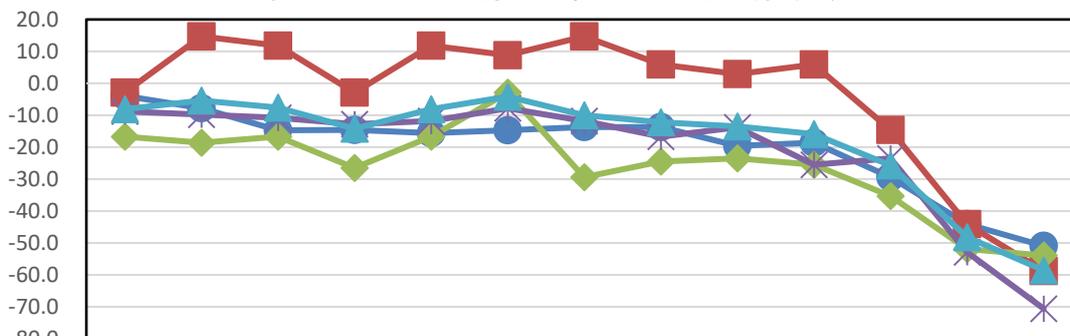
業況は-54.0（前月-52.0、前年同月-16.7）と前月に比べ 2.0pt 悪化した。新型コロナウイルスの影響で、外出自粛により内食需要が増え、食料品小売業では業況が改善されている。しかし、他の小売業は来店客が減少、買い控えが窺えた。

【サービス業】

業況は-70.6（前月-52.9、前年同月-8.8）と前月に比べ 17.7pt 悪化した。宿泊業で予約のキャンセルが増加し、売上がたたない状況となっている。また、宿泊に関連した業種も連鎖的に売上が減少しており、業況が大幅に悪化した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年4月期 業種別業況DI推移表＞



	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
DI値(製造業)	-3.9	-7.8	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0
DI値(建設業)	-2.9	14.7	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8
DI値(小売業)	-16.7	-18.6	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0
DI値(サービス業)	-8.8	-9.8	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6
DI値(全業種平均)	-8.1	-5.4	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食品製造業では休校・休業に伴い学校給食や飲食店等への食品卸などがストップし、多大な影響を受けている。(伊豆)
- ・業種にもよるが現地工場の製造停止や物流のストップ、設備投資のストップによる受注減少など様々な影響により下請けとなる小規模事業者に影響が発生している。(富士駿東)
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による外出控えにより、飲食店からの受注が大幅に減少し食品品製造業の業績が悪化。(中部)
- ・輸入物が入りにくくなり、業況が悪化した。(中東遠)
- ・自動車関係が稼働日数を減らしており、受注が大幅に減っている。(西遠)

【建設業】

- ・新型コロナの影響で受注が減少。また、建材が手に入らない等の影響も出ている。(伊豆)
- ・建築業者で、中国から輸入している建築材料の入手が依然困難であり、工事中断、着工延期など影響が深刻化している。(富士駿東)
- ・住宅等建築資材の入荷遅れにより工期延長等がある。また感染症の影響として工期の見直しや延期を検討している事案もある。(中部)
- ・電気工事において催事等の中止により受注が大幅に減少。建築業も受注した工事が延期するなどコロナの影響を受けている。(中東遠)
- ・コロナの影響で材料が入らず工事が遅れている。資金繰りも厳しい状況である。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品品小売業・耐久消費財小売業)

- ・衣料品は自粛要請で来客数減少し、売上が減少。特に家族客は少ない。(伊豆)
- ・衛生用品(マスク、消毒液等)を扱う小売店で、衛生用品の入荷が困難である。(富士駿東)
- ・自粛要請により食品品販売は好景気である。(中部)
- ・衣料品は消費者の買い控えが伺え業況は悪化。食品品ではお家ご飯が増え、やや好調。耐久消費財では消費増税の影響に加え、コロナの影響もあり、やや業況は悪化。(中東遠)
- ・洋服・車は購買行動に至らず。食品品スーパー関連は需要旺盛。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・理美容業では自粛ムードにより来店者数が減少。営業時間を短縮している。(伊豆)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊業は軒並み休業状態である。洗濯・理美容は、入学式等が無くなった影響により売上がダウン。(富士駿東)
- ・旅館業は新型コロナの影響でキャンセルが多数あり、休業状態となっている。(中部)
- ・ホテルやエステ関係の落ち込みが激しい。(中東遠)
- ・旅館業で4月は各種団体の引き継ぎ会等の宴会が通常はあるが、今年はコロナの影響で宴会がなく、前年比7割～8割減となった。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年4月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-55.9	-55.8	悪化
売上	-61.7	-50	減少
仕入単価	-11.7	-2.9	低下
採算	-49.9	-50	好転
資金繰り	-64.7	-55.9	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.5	-26.5	不変
売上	-23.6	-20.6	減少
仕入単価	3	2.9	上昇
採算	-14.8	-17.6	好転
資金繰り	-17.7	-11.8	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-70.5	0	悪化
売上	-61.8	-44.1	減少
仕入単価	-8.8	-8.8	不変
採算	-52.9	-38.3	悪化
資金繰り	-67.6	-41.1	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-44.1	悪化
売上	-44.1	-38.2	減少
仕入単価	-2.9	2.9	低下
採算	-50.1	-41.2	悪化
資金繰り	-58.8	-44.1	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-73.6	-61.8	悪化
売上	-76.4	-58.8	減少
仕入単価	-5.9	2.9	低下
採算	-64.7	-50	悪化
資金繰り	-73.6	-50	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.5	-41.1	好転
売上	-8.9	-17.6	増加
仕入単価	17.6	23.6	低下
採算	-29.5	-32.3	好転
資金繰り	-35.4	-38.2	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-53	悪化
売上	-55.8	-55.9	増加
仕入単価	3	5.9	低下
採算	-47.1	-38.3	悪化
資金繰り	-55.9	-44.1	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.7	-58.9	悪化
売上	-67.7	-61.9	減少
仕入単価	-20.7	-8.8	低下
採算	-64.8	-58.9	悪化
資金繰り	-67.7	-61.8	悪化

9.洗濯業

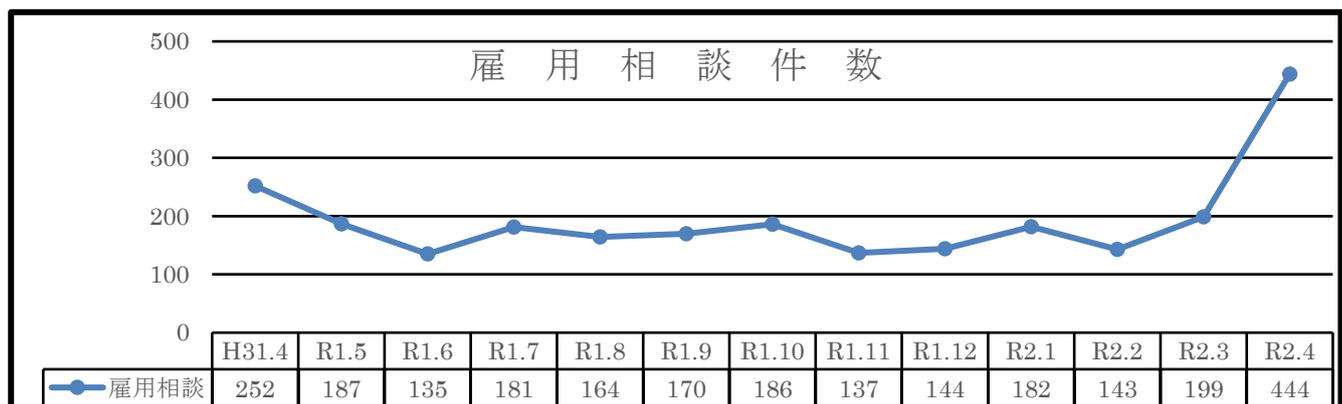
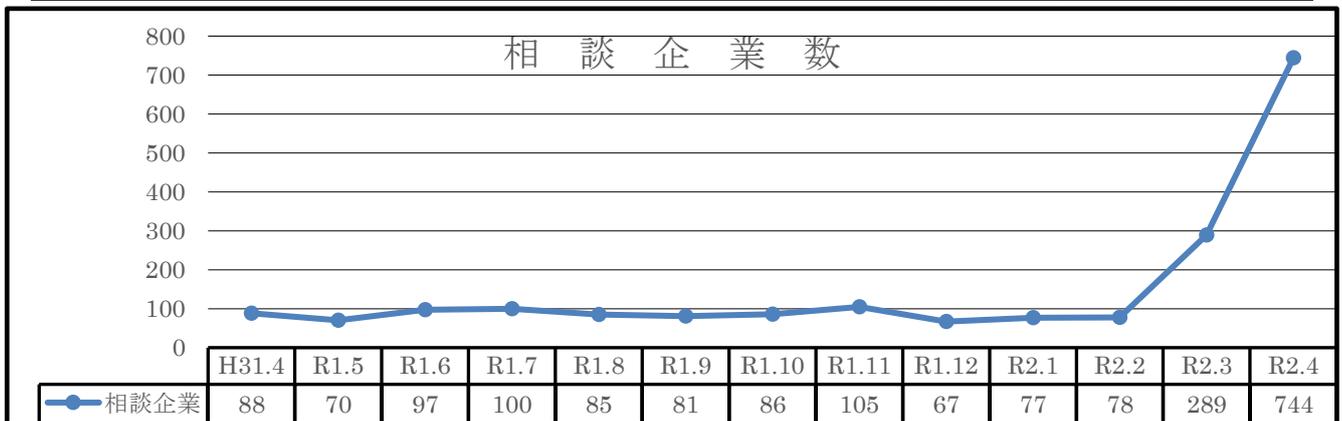
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-64.7	-47	悪化
売上	-67.7	-50	減少
仕入単価	-5.9	5.9	低下
採算	-50.1	-32.4	悪化
資金繰り	-55.9	-23.6	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-79.5	-52.9	悪化
売上	-79.4	-58.8	減少
仕入単価	-17.7	-5.9	低下
採算	-61.7	-44.2	悪化
資金繰り	-70.6	-41.2	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年4月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	744	289	455
【金融相談件数】	877	332	545
新規融資（借換えを除く）	571	218	353
既存債務の借換え	200	73	127
借入れ条件変更	2	4	-2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	104	37	67
【雇用相談件数】	444	199	245



【金融相談】

金融相談件数は、877件と前月(332件)に比べ545件増加した。新型コロナウイルスの影響により融資相談が急増している。飲食業、宿泊業、サービス業による相談が多いが、建設業や製造業からの相談も増え始めている。今後も新型コロナウイルスの影響による金融相談は増加することが予想される。

<経営指導員コメント>

- ・既存債務の借り換えを含めた、コロナ関連の特別融資の申し込みが多い状況である。(伊豆)
- ・コロナマル経、特別貸付ともに融資相談が激増している。今後も相談が増加する可能性が高い。(富士駿東)
- ・新型コロナウイルスの影響による融資(借換含む)相談が増加。相談者がどの制度を利用するかで悩まれる方も多い。(中部)
- ・飲食業や宿泊業で新型コロナの影響で急な運転資金での借入が増加している。(中東遠)
- ・コロナ関連の融資相談が多い。飲食業は現状が続けば廃業検討している企業もある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、444件と前月(199件)に比べ245件増加した。年度始めであり、雇用保険資格取得・喪失に関する相談も多いが、新型コロナウイルスの影響による休業に伴い雇用調整助成金に関する相談が増加している。助成金申請が複雑であるため、社労士による相談会を開催するなどして対応をしている状況である。

<経営指導員コメント>

- ・新型コロナウイルスの影響により、雇用調整助成金、離職など、自粛による休業の影響で起こる雇用問題の相談が多い。(伊豆)
- ・年度更新相談、雇用保険(被保険者資格取得・喪失)等、従業員の就業に関する相談及び新型コロナの影響で休業に伴い、雇用調整助成金の申請相談が増加している。(富士駿東)
- ・雇用保険の資格取得・喪失や雇用調整助成金の相談が増加。また、テレワーク導入に関する相談もでてきている。(中部)
- ・新型コロナの影響を受け、雇用調整助成金の相談が増加している。社労士による相談会は満席であり、今後も開催を予定している。(中東遠)
- ・従業員の確保のため雇用調整助成金の相談もあるが、雇用調整助成金の申請手続きが複雑であきらめる事業所が多い。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・6月開催予定の町バル中止等、全イベントが中止である。南伊豆町GW休業要請協力金：町内観光事業者に20万円支給。約200事業者に4000万円の予算で実施。(南伊豆町)
- ・新型コロナの影響により町が主催するイベント(富士山金太郎春・夏まつり等)は9月末まで中止となった。(小山町)
- ・3月下旬～8月まで、イベントは中止が決定。飲食店の休業要請もあり、商工会としてはテイクアウト営業を行っている店舗をSNSで順次紹介する取組を実施している。(沼津市)
- ・新型コロナの影響により4～8月開催の行事が中止となった。富士市は飲食店に対し、4月29日～5月6日に休業要請を行い、応じた店に「富士市新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」を給付することとなった。宿泊業も、「事業継続支援給付金」が給付される。(富士市)
- ・イベントはすべて中止の意向。商工会でテイクアウトチラシを作成したほか、飲食店有志でドライブスルー販売を行っている。(掛川みなみ)
- ・商工会、商工会議所合同で実施する就職企業説明会の高校生向けが中止、大学生向けはオンライン就職説明会として6月に開催することとなり、参加企業数が減少した。(浅羽町)
- ・コワーキングスペースイトリエでの創業支援や事業計画策定を行っている。(浜北)